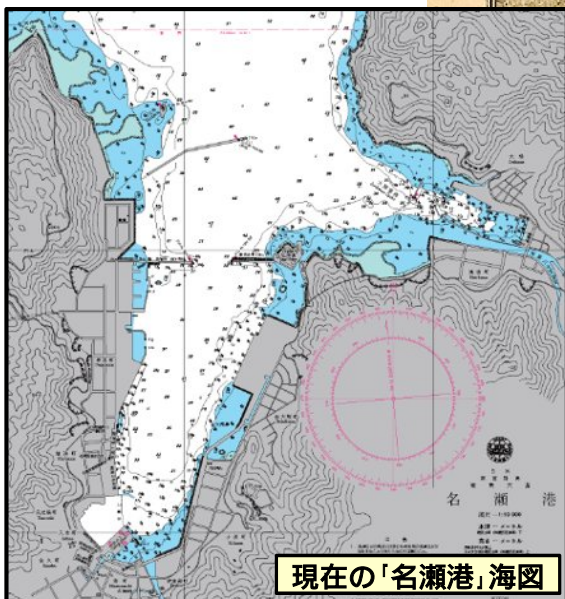
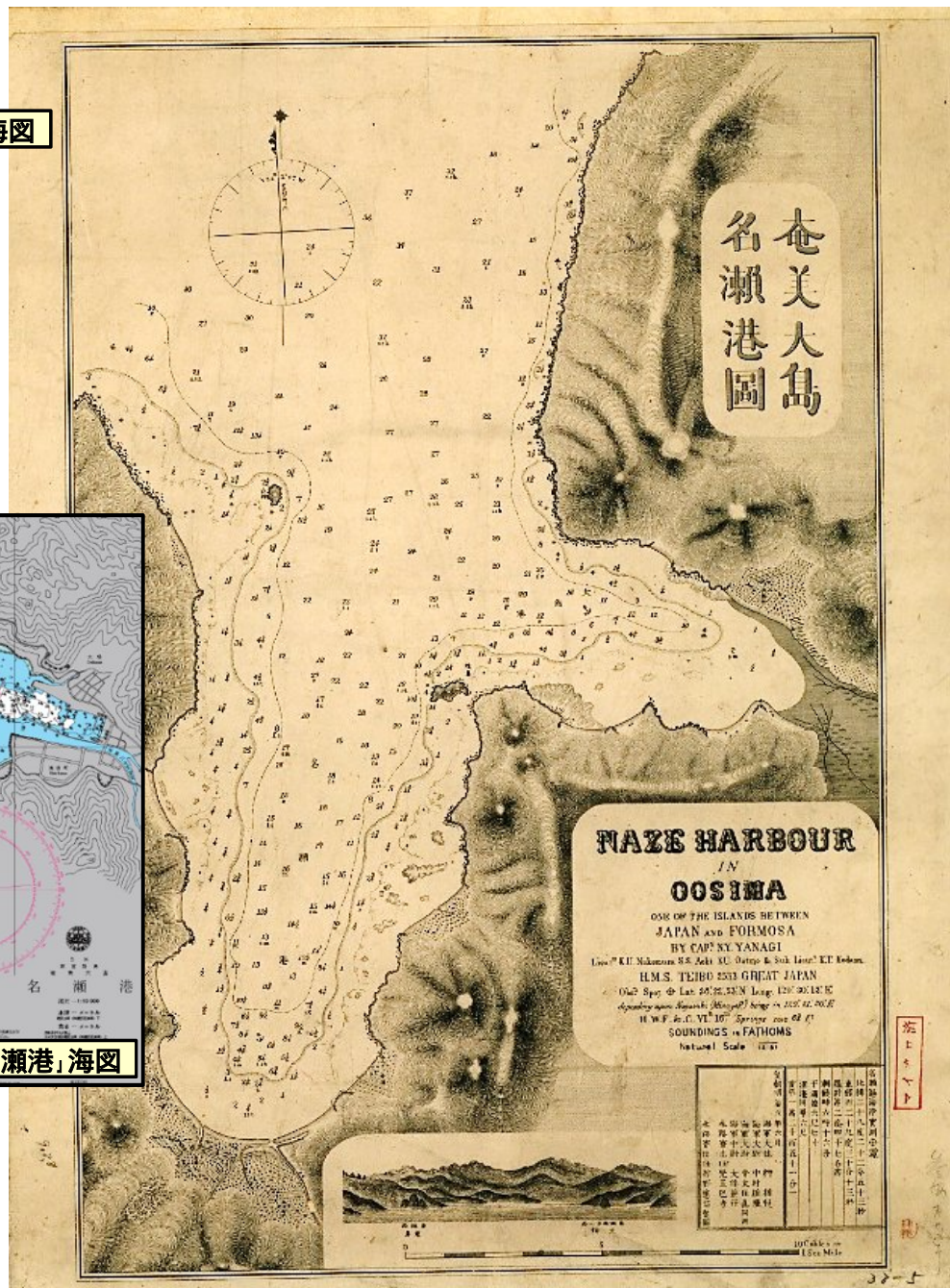


# 奄美海上保安部便り

## 明治初期の「名瀬港」海図を紹介

明治6年測量の「名瀬港」海図



現在の「名瀬港」海図

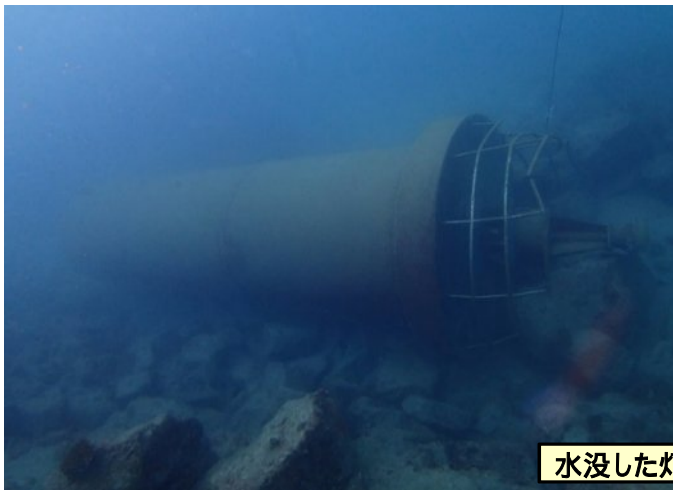
奄美市の名瀬港は、埋め立てや岸壁の整備が進み大きく様変わりしていますが、一昔前はどのような地形だったのか、興味を持たれたことはないでしょうか。

当部に、明治6年に測量された海図の画像がありましたので、誌面にて紹介します。

名瀬の港や市街がどのように整備されてきたのか、現在の海図と見比べて、名瀬港の変遷を楽しまれては如何でしょうか。



# 「名瀬港西防波堤灯台」 倒壊



9月29日から30日にかけて奄美地方を通過した台風24号は、甚大な被害をもたらしましたが、当部が所管する航路標識の被害も大きく、なかでも奄美市名瀬港に設置していた名瀬港西防波堤灯台は、台風の高波及び強風により倒壊してしまいました。

倒壊した灯塔は、潜水調査により約250m離れた海底で発見され、早期引き揚げを計画しており、灯台本体についても、復旧に向けて関連する作業に取り組んでいます。

本復旧までの間は、代替え措置として仮灯を防波堤の先端に設置していますので、名瀬港に入出港する船舶は、仮灯の利用をお願いします。



# 中学生を対象に薬物乱用防止教室を開催



10月10日(水)、奄美市笠利町の笠利中学校で生徒35名(1年生15名、2年生13名、3年生7名)を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。

同校から依頼を受けての開催でしたが、中学生を対象とした教室は、奄美海上保安部管内では初めてとなり、薬物に関する基礎知識、薬物乱用が及ぼす危険性などについて分かりやすく説明を行いました。

終了後、生徒代表から「軽い気持ちで薬物などを使用してしまったら、大変なことになると改めて感じました。」との言葉があり、身近に潜む薬物の危険性を知らせる良い機会となりました。

# 漁船検認に同行して海難防止活動を実施



10月22日(月)、鹿児島県大島支庁による宇検村漁協所属船の漁船登録票の検認に同行し、船長に対して、小型船舶操縦者の遵守事項である、見張りの励行、発航前の検査、救命胴衣の着用などについて指導を行いました。

登録票の検認は、奄美群島の漁船を対象に計画的に実施されており、同行することにより効果的な海難防止活動が可能となることから、今後も、鹿児島県大島支庁と連携を図り安全指導に取り組んでいく予定です。



# 巡視船「あまぎ」潜水訓練等実施



潜水訓練(水中計測)



曳航訓練

10月25日(木)、巡視船「あまぎ」乗組員が、奄美大島笠利湾内において潜水訓練及び小型船舶曳航訓練を実施しました。

潜水訓練では、実況見分を想定して船底の水中計測を潮流の速い悪条件下で実施し、作業の慣熟と潜水能力の向上に努め、曳航訓練では、搭載艇を漂流船と見立てて一連の曳航作業の慣熟と連携の強化を図りました。

日頃取り組んでいる訓練の一例ですが、巡視船「あまぎ」、「かいもん」は、発生する事件、事故に迅速且つ的確に対応するために、普段から各種訓練に鋭意取り組んでいます。

# 150周年灯台記念日に表彰式挙行



作田 裕代 氏

瀬戸内漁業協同組合  
(茂野 拓真 組合長)



11月1日(木)、150周年の灯台記念日に、長年にわたり航行援助業務に協力されている2名の方が、第十管区海上保安本部長表彰、奄美海上保安部長表彰を受けられました。

- ・ 第十管区海上保安本部長表彰 作田 裕代 氏  
 梵論瀬崎灯台の灯火監視協力者(15年継続)、海上交通の安全確保に貢献されました
- ・ 奄美海上保安部長表彰 瀬戸内漁業協同組合(茂野 拓真 組合長)  
 古仁屋港防波堤灯台の灯火監視協力者(10年継続)、海上交通の安全確保に貢献されました(灯台記念日)

西洋技術を用いた灯台の建設は、神奈川県横須賀市の観音崎灯台に始まり、その工事の起工日は明治元年11月1日でした。当時、灯台は文化の象徴、先駆けであり、我が国において近代灯台業務が開始された日として、11月1日を「灯台記念日」と決めました。平成30年は、明治元年から数えて150周年の節目の年でした。



# 奄美市防災訓練参加



災害対策本部



消防と連携したブリッジ救助訓練



漂流者救助訓練



消火訓練

10月28日(日)、奄美市防災訓練に参加しました。

訓練は、奄美大島近海でマグニチュード8.2の地震が発生し、市内全域に津波が到達するとの想定で実施され、災害対策本部が設置された名瀬港においては、行政、警察、消防、自衛隊などの関係機関が参加し大規模な合同訓練が行われました。

当部からは、巡視船「あまぎ」、「かいもん」が参加し、住民への避難広報、港内の被害状況調査、海面漂流者救助、ブリッジ救助、消防との連携消火などの訓練を展開し、関係機関との連携強化を図りました。

当日は天候にも恵まれ、訓練の様子を観覧される一般の方も多く、当庁の業務に関して認識を深めて頂く良い機会となりました。



# 笠利埼灯台一般公開

150th  
Lighthouse  
ANNIVERSARY



残念ながら小雨交じりの空模様



業務紹介(動画放映、パネル展示)



灯台の灯りもお出迎え



灯台まで程良い運動です(高さ50m)



踊場から見える絶景を堪能



制服試着



70人目の来場者(写真左)



118人目の来場者



150人目の来場者

11月3日(土)、灯台記念日の関連行事で笠利埼灯台(奄美市笠利町)の一般公開を実施しました。灯台施設の開放にあわせて、業務紹介パネルの展示、所管航路標識のスライド放映、灯台の変遷動画放映、制服試着、オリジナル缶バッジの作製などを実施し、来場者に航路標識の重要性、更には明治期灯台の歴史的価値について認識を深めて頂きました。

当日は、小雨交じりのあいにくの空模様でしたが、訪れる方が途絶えることはなく総勢で212名の来場者があり、70人目(海上保安制度創設70周年)、118人目(緊急通報番号「118」番)、150人目(初の洋式灯台起工から150周年)の来場者には記念品を贈呈しました。



# おしごとテーマパーク参加



巡視船「さつま」一般公開は大盛況



潜水器具を装着体験



船橋の設備に興味津々



ロープをみんなで引っ張って救助を手助け



制服を試着して敬礼!



訓練を披露した潜水士と記念撮影

11月18日(日)、奄美大島の様々な仕事を子ども達が体験するイベント「おしごとテーマパーク」(主催: 県建設業協会奄美支部・奄美市、開催場所: 奄美市名瀬港観光船バース)に参加しました。

イベントには、奄美大島所在の約20の企業、官公庁が参加しており、子ども達はいろんな仕事を体験することにより、地元の仕事に魅力を感じ、働くことの楽しさや難しさを学んでいました。

当部のブースでは、巡視船「さつま」(鹿児島海上保安部所属)の一般公開、「さつま」乗組員による展示訓練、海上保安展(パネル展示)などを実施し、子ども達に船橋の各種業務、潜水器具の装着、救助ロープの展張、制服の試着などを体験してもらいました。

終日大盛況で、「さつま」の一般公開には1,221名の来船者があり、この中から未来の海上保安官が誕生してくれること間違いのないと感じた一日でした。



# 図画コンクール表彰式



巡視船の前で記念撮影



赤木名中学校1年 泉 美乃 さん

海上保安協会南九州地方本部長賞



奄美小学校3年 森田 あかり さん

赤木名中学校2年 竹田 直太郎 さん



神之嶺小学校4年 加 笑真 さん

奄美海上保安部長賞

11月18日(日)、第19回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクールの表彰式を「おしごとテーマパーク」のイベント会場ステージで実施しました。

今年の奄美群島内の受賞者は14名で、表彰式には10名が出席しました。

受賞者は、表彰式では大勢の来場者の注目を浴びて硬い表情でしたが、式が終わると緊張もほぐれ、笑顔で受賞を喜んでいました。

【受賞作品】(応募作品 全国:31,800点、奄美群島:454点)

- ・ 海上保安協会南九州地方本部長賞 1 点
- ・ 第十管区海上保安本部優秀賞 1 点
- ・ 奄美海上保安部長賞 3 点
- ・ 海上保安協会奄美支部長賞 3 点
- ・ 海上保安協会奄美瀬戸内支部長賞 3 点
- ・ 海上保安制度創設70周年奄美海上保安部特別賞 3 点



# 巡視船「あまぎ」一般公開（与論島）



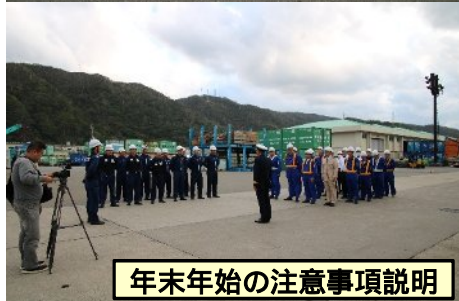
途絶えることのない来船者



各イベントは大盛況

12月2日(日)、与論島茶花港において巡視船「あまぎ」の一般公開を行いました。当日は、師走とはいえ汗ばむ陽気で、船橋見学、潜水器具装着体験、制服試着、業務紹介動画の放映など盛り沢山のイベントを実施しましたが、どれも盛況で3時間の公開時間内に223名の来船者がありました。

# 「フェリーとしま2」安全総点検



年末年始の注意事項説明



安全総点検の実施状況



12月13日(木)、奄美市名瀬港佐大熊地区岸壁において、「フェリーとしま2」の安全総点検を実施しました。当庁では、年末年始の繁忙期における事件・事故を防止するため、平成30年12月10日から平成31年1月10日までの期間、年末年始特別警戒及び安全指導を実施しています。安全総点検はその一環で、法定書類、荷役設備、救命設備などの点検のほか、安全運航の徹底、不審者・不審物への警戒強化、緊急時の連絡体制の確保などについて指導を行いました。点検の結果、適正な運航がなされていることが確認でき、乗組員の皆様に点検協力へのお礼と安全運航の継続をお願いして終了しました。



# 奄美群島排出油等防除協議会開催



奄美支部総会(安尾保安部長挨拶)



奄美支部での部外講師による講習会



奄美支部合同訓練



沖永良部支部総会



与論支部総会

「奄美群島排出油等防除協議会」は、奄美群島周辺海域で、大量の油や有害物質の排出事故が発生した場合、関係機関が一体となって迅速且つ的確に排除できる体制を構築するために平成28年12月に設立されました。

協議会は6支部で構成されており、平成30年は5月に役員会を開催した後に、支部ごとに総会、定例訓練を実施し、運営の見直しと会員間の連携強化を図りました。

## 【会 員】

国、県、市町村、警察、消防、港湾・岸壁管理者、油取扱業者、油タンカー所有者など108機関

## 【支 部】

奄美支部(12月6日支部総会開催)、瀬戸内支部(12月7日支部総会開催)、喜界支部(12月21日支部総会開催)、徳之島支部(6月25日支部総会開催)、沖永良部支部(12月1日支部総会開催)、与論支部(12月3日支部総会開催)



# スキューバダイビング安全対策協議会開催



総会の状況



講演会の状況

12月13日(木)、奄美群島のダイビング事業所から構成される、奄美群島地区スキューバダイビング(SD)安全対策協議会の定期総会が奄美市内のホテルで開催されました。

この会は、事故の未然防止及び迅速かつ的確な救助活動の遂行に必要な措置を講じ、安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展に寄与することを目的としており、各事業所の取組状況や問題点などについて協議し、「自然体験におけるリスクマネジメント」を演題とした講演会も行われました。

当部からは、多数の会員が取り扱っているシュノーケリングについて事故の発生状況を説明し、安全対策の強化をお願いしました。

## 海の事件・事故は118番



## 奄美海上保安部

〒894-0034 鹿児島県奄美市名瀬入舟町22番1号  
TEL・FAX 0997-52-5811